ミニ集会重ね戸別補償周知

新年度にスタートするコメの戸別所得補償モデル事業を周知するため、民主党の石山敬貴氏（衆院宮城4区）は毎週末、地元の大崎地方を中心に農村部を歩いてミニ集会を重ねている。「仕組みがよく理解されておらず、不安を抱いている人も多い。春の作付けのころまで繰り返し説明していきたい」と語る。

農家出身で自ら「おにぎり王子」を名乗る石山氏は、自宅で6㌃の田んぼを耕作。「農家の苦労は身に染みて分かる」という。「栽培の手間暇を考えると今までのコメの値段は安すぎた。農業を守り発展させていくため、制度をしっかり定着させたい」と意気込む。

政経短信